



杉森だより

令和7年3月7日
調布市立杉森小学校
校長 濱松 章洋

<https://www.chofu-schools.jp/sugimori-sho/>



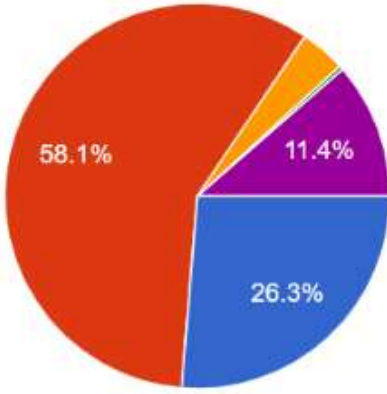
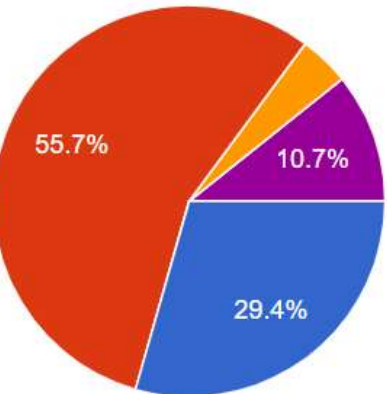
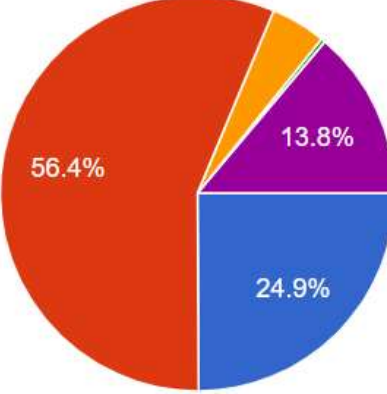
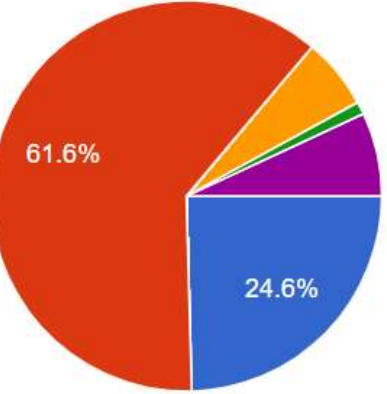
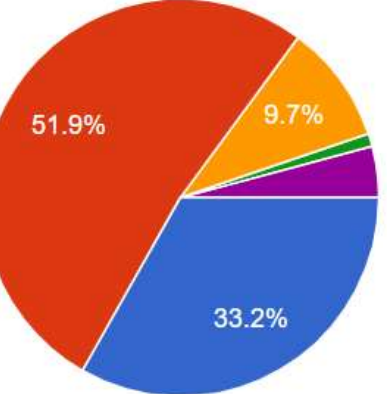
sugimori-sho@chofu-schools.jp

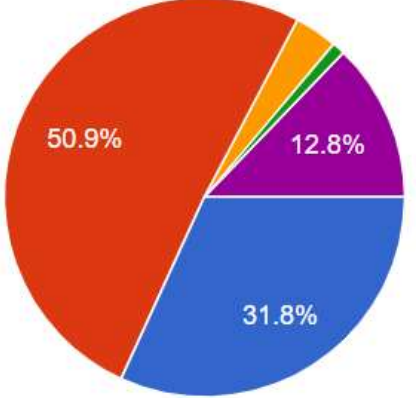
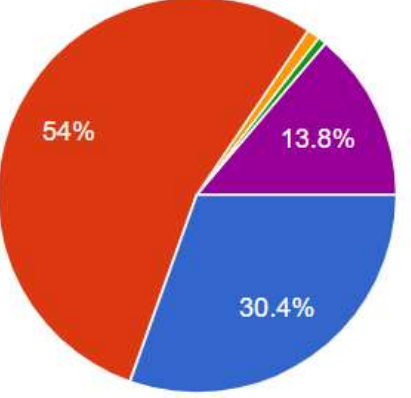
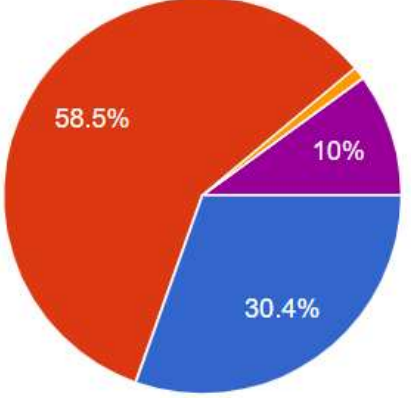
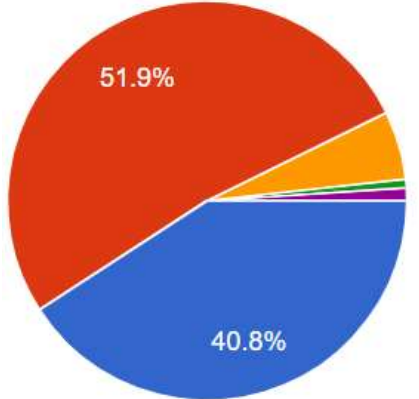
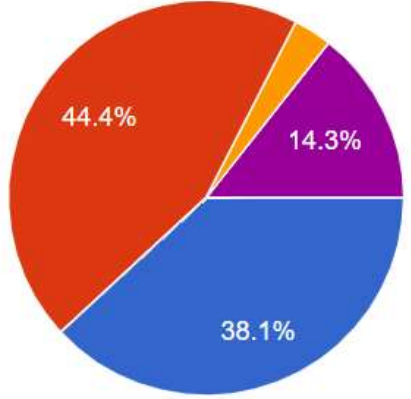
「令和6年度教育活動保護者アンケートの報告」

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

12月に実施した「令和6年度教育活動保護者アンケート」について、集計結果等を次の通りご報告いたします。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

アンケート10項目すべてで、80%以上の肯定的回答をいただきました。自由記述欄でも、多様な中で日々の指導・業務に取り組む教職員を評価し、ねぎらってくださるお言葉をたくさんいただきました。このことは、教職員の今後の励みになります。感謝申し上げます。

①学校は、あいさつ指導を通して相手を大切にする豊かな心を育成している。	②学校は、給食指導を通して自分にかかわる人に感謝の気持ちを表す豊かな心を育成している。	<アンケートについて> 家庭数:550 回答数:289 回答率:52.5%
		■⇒よく当てはまる ■⇒当てはまる ■⇒やや当てはまらない ■⇒当てはまらない ■⇒分からない
③学校は、授業でのあいさつ指導を中心として子どもたちの授業規律の醸成を図っている。	④学校は、授業のねらい・めあてを明確にした分かりやすい授業を行い、確かな学力を育成している。	⑤学校は、スポーツフェスティバル等の取組で運動の楽しさを伝え、健やかな体を育成している。
		

⑥学校の教科担任制・学年担任制は、豊かな心・確かな学力・健やかな体を育むうえで効果的である。	⑦学校の教科担任制・学年担任制は、学級間格差等を防ぐうえで効果的である。	⑧ 学校は、保護者・PTAや地域関係団体の方々等と連携し、教育活動に取り組んでいる。
		
⑨ 学校は、おたよりやすぐーの配信により、必要な情報を発信している。	⑩ (1～4年生のお子さんがある場合のみ回答) 学校が取り組んでいる算数少数人数指導・習熟度別指導は、学力向上に効果的である。	「分からない」という回答が10%以上あった項目が7つありました。このことは、学校からの情報発信の内容や方法にも課題があるととらえております。これを受け、3学期から学校ホームページにて「学校生活の様子」と「今日の給食」をお知らせするようにいたしました。時に更新できない時もあるかと思いますが、情報の積極的発信に努めてまいります。よろしければ、ご覧ください。
		

「補助教員・職員の配置」「スクールカウンセラーの配置」等について、増やしてほしいというご要望もありますが、東京都または調布市の事業決定に基づき配置されており、学校だけでは改善が難しいです。配置日数の増加については、ご意見いただいたことを教育委員会にも伝えさせていただきます。

学年担任制についてご意見をいただきました。今年度は、担任が学級を交換して授業・朝と帰りの会・給食指導を行う「学年担任制」を学年等の実態に応じて取り入れました。保護者の方々から「子どもが、『担任の先生から、学年の先生方が自分の頑張っていることをほめてくださっていると聞いた。』ことを嬉しそうに言っていました。」など、ありがたいご報告をいただきました。一人一人の子どもや各学級の諸課題に対して、教員一人が抱え込むことなく、むしろ常に複数の教員が子どもたちに関わって対応するこの体制について、評価をいただきました。保護者・地域の方々で構成される「学校運営協議会」においても、教職員が個性やパーソナリティを生かして学年すべての教育活動に取り組めるこの体制について、高い評価をいただきました。一方で、学年担任制についてとまどいを感じられたご意見もいただきました。

次年度は、子どもたちのよさやクラスの課題解決のための学年担任制を一層工夫・充実させて、教育活動を進

めてまいります。そして、そのねらいやメリットについて、保護者会などを通じて丁寧なご説明に努めたいと考えております。ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

スポーツフェスティバル(運動会)について、多数のご意見をいただきました。この行事を計画するにあたっては、運動または運動会を苦手としている子どもも少なくないことから、「すべての子どもたちが運動に親しむ・楽しむ」ことの充実を第一として検討してきました。そして、その象徴として「運動会」を「スポーツフェスティバル」という名称にしたうえ、子どもたちの体力や暑さ・運営面などを考慮して従前の運動会からの改善・充実をめざしているところです。(この数年、天候にも左右され、計画通りにスポーツフェスティバル(運動会)を開催できず、学校としても悔しい思いをしているところです。)

次年度については、この方針は変えないものの、かつてのような「決まった演技・競技を教師の見本をなぞらえて行う」ことを脱し、「子どもたちが自分たちで考え、自分たちで創り上げ自分たちで運営することを教員がサポートしていく」スポーツフェスティバルとなるよう、取り組んでまいります。詳細は、次年度のお知らせをお待ちください。

学習発表会の在り方について、ご意見をいただきました。今年度作品会については大変好評をいただきましたが、「6年間の集大成として、6年生は舞台発表を見たい。」というご意見がありました。教職員でもその考えに納得する意見が多くあったことから、次年度以降は6年生の舞台発表を毎年行うとともに、「子どもたちが自分たちで考え、自分たちで創り上げること」また、小学校6年間を見通してバランスよく経験・発表することができるよう各学年の取組を検討することとしました。詳細は、次年度のお知らせをお待ちください。

5・6年生の算数習熟度別指導について、今年度は正規教員に欠員があり補充ができなかったことから、残念ながら実施することができませんでした。恐れ入りますが、ご了承ください。

すぐーるの配信や諸連絡の在り方について、ご意見をいただきました。誤った連絡によりご心配・ご迷惑をおかけすることがあったことについては、お詫び申し上げます。正確かつ確実な連絡が行えるよう、学年や学校としてのチェックの徹底に努めてまいります。

その他にも、様々なご意見をいただきました。それらについても、今後の参考とさせていただきます。

なお、お子さんの学校生活について気になる点がありましたら、どうぞ遠慮なく学年の担任までご相談ください。「子どもの数は命の数 心の数 だから笑顔の数でなければならない。」これを共有し、学校の教育活動を進められるよう教職員一同取り組んでまいります。一方、学校生活の充実には、保護者・地域の皆様のご協力も欠かせません。学校の教育活動に皆様のご理解・ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。